

V34c JVOの研究開発 (JVOポータルへのデモンストレーション)

田中昌宏、白崎裕治、川野元聡、本田敏志、大石雅寿、水本好彦、大江将史(国立天文台)、
安田直樹(東大宇宙線研)、増永良文(お茶の水女子大)、
石原康秀、堤純平(富士通)、中本啓之、小林佑介、坂本道人(セック)



バーチャル天文台(Virtual Observatory; VO)は、世界中に分散した天文データアーカイブを統一的に利用するためのシステムである。VOの実現により、天文データアーカイブを用いた研究の加速が期待される。JVOプロジェクトでは、これまでに国際連携に対応した天文データ・メタデータ検索・交換プロトコル等のVO基盤技術の開発、分散環境におけるデータサービスやポータルサイトの開発などを通じて、JVOプロトタイプシステムを構築してきた。本年度は実用へ向けたJVOシステムの性能向上および機能拡張をおこなった(V32a大石の発表を参照)。その中でも、ワークフロー言語の開発・実装により、より自由度の高い検索・解析処理の実行が可能になった。本発表では、機能向上したJVOポータルシステムの実演をおこなう。

